

呉市幸町地区のコンセプト (案)

- ・海の平和とものづくり

呉市「食」のコンセプト (案)

- ・牡蠣とレモンと海自カレー

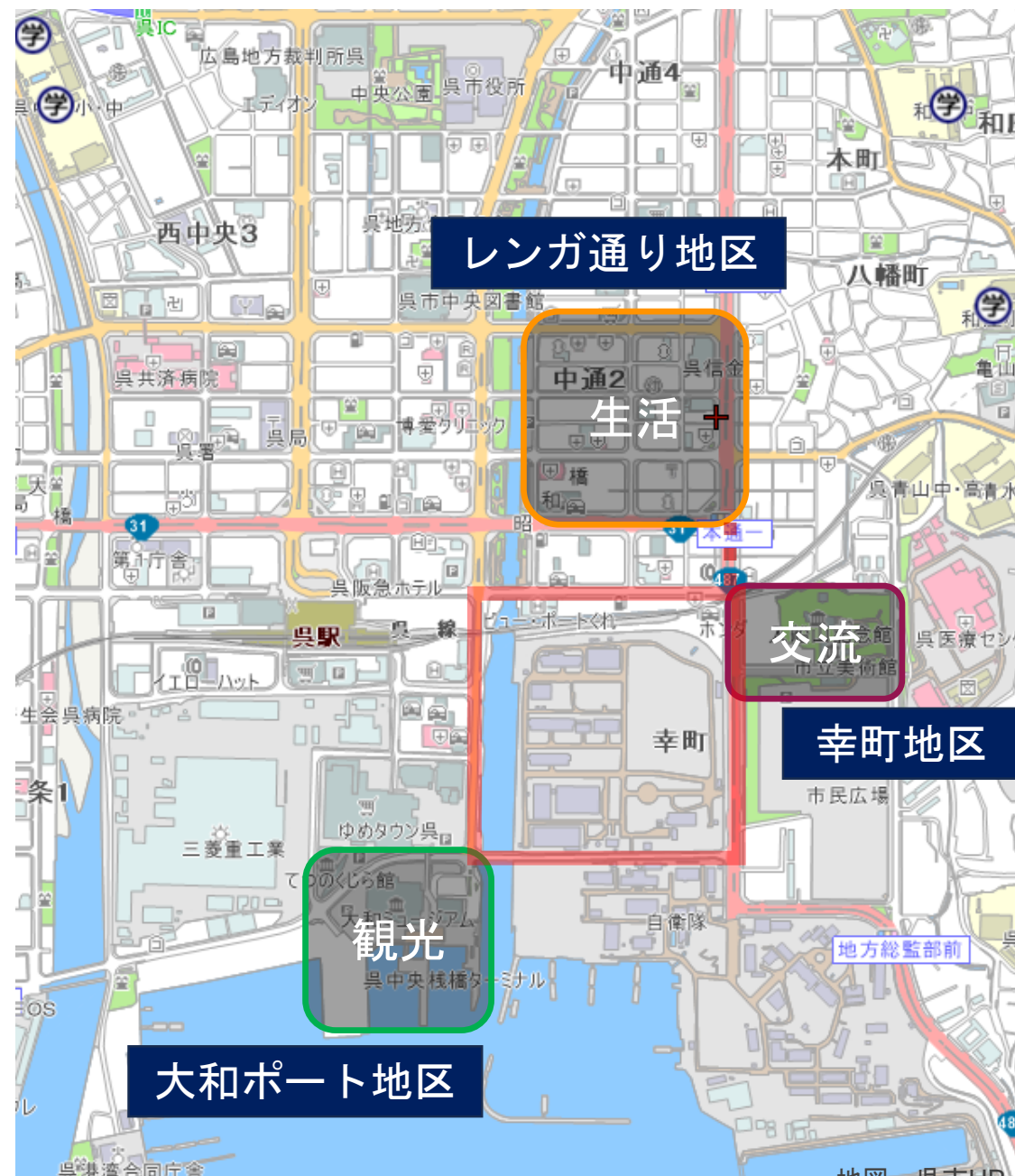
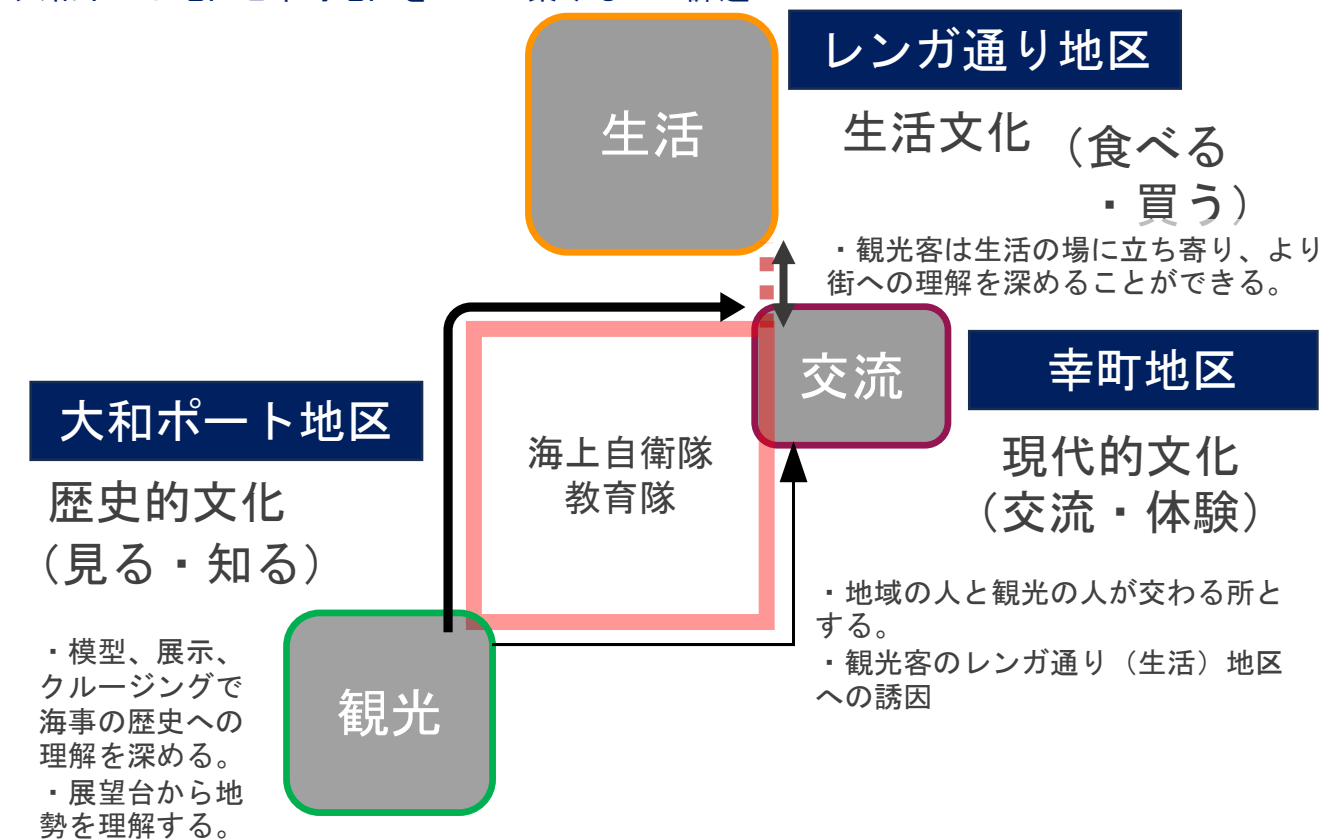
※他にも、和菓子、酒、冷麺などあり



引用：呉氏HP

呉市街地ネットワーク

大和ポート地区と幸町地区をいかに繋げるかが課題



地図：呉市HP

呉市幸町地区の機能の考察 (2 / 3)

幸町地区

<考えられる属性>

- ・ 相談や交流できる所がない子育て保護者
- ・ 退職後の元気で経験豊富な高齢者
- ・ 子育てが一段落して何かしたい女性
- ・ 起業などチャレンジしたい人
- ・ 行き場の少ない若者、障害者
- ・ 色々と体験したい子ども

<青山クラブ>

地元と観光客の両方が訪れることを意識し、双方の場の交流ができるように設計する。(例：北海道東川町の地域複合交流施設せんとぴゅあII, 八戸市美術館, 八戸ポータルミュージアムはっち)

<桜松館>

呉市には屋根のかかった全天候型の半屋外のイベント広場がないため、桜松館のストックを利用し、周辺施設と関連を持たせることで様々な市民のイベントが行えるようにする。青山クラブの中庭とつながり、イベントの拡張も可能とする。

<呉市美術館>

美術館としての機能は青山クラブに移し、新たにできる陸上競技場と関連した施設とする。スポーツをする若者、保護者、子どもの利用を考慮したレストラン・カフェ、休憩スペース、更衣室、温浴室、宿泊施設(試合や合宿時利用)を設ける。

若者向け施設：ボルダリングやスケートボード場などのスポーツ施設を作り陸上競技だけでなくスポーツ拠点とする。また、需要の高い音楽やダンスの練習場やライブ会場、勉強できる空間を設置し、若者のための文化創造の場所とする。

子どもの遊び場：スポーツをする若者と一緒に連れてこられた子どもが遊べるスペースを設定。スノーズレンやカームダウンスペースなど感覚に配慮した空間などで社会包摂にも配慮。

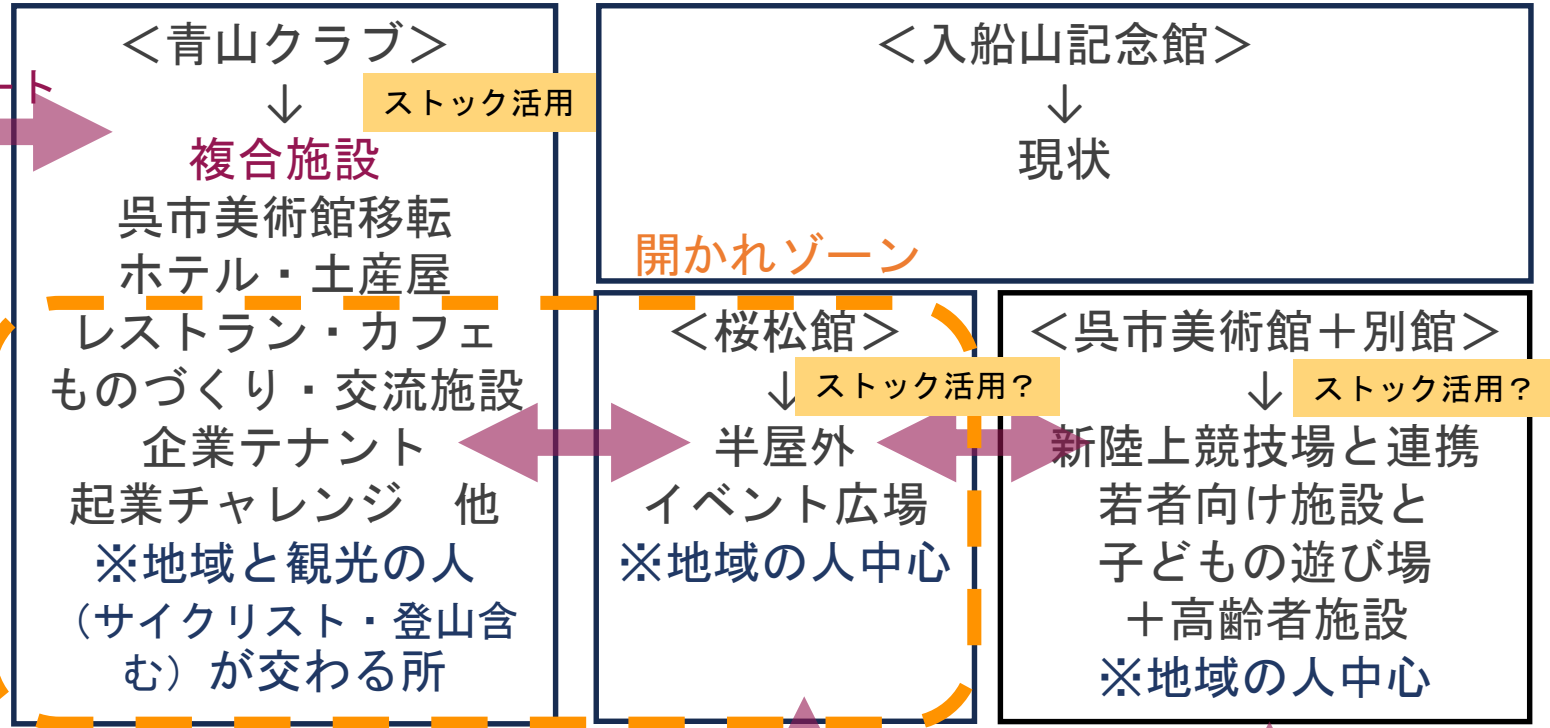
一本案の課題 高齢者への配慮サ高住などの設計

<課題>

- ・ 駐車場・車両ルート
の確保
- ・ 安全な歩行者の往来
美術館通りの横断方法

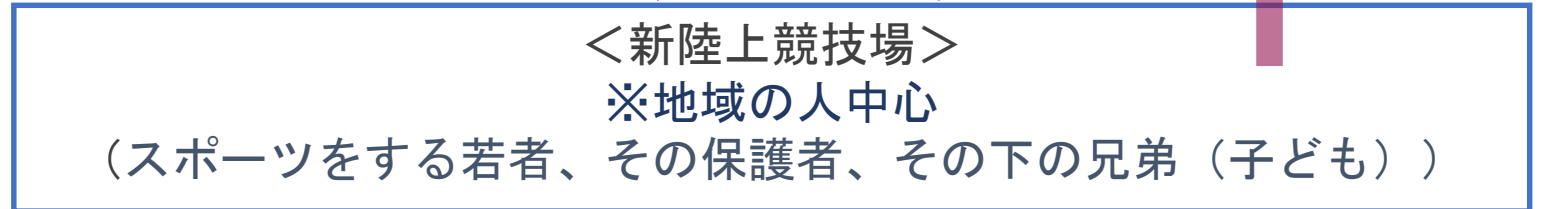


大和ポート
エリア
呉駅



島嶼部

宮原高校



呉市幸町地区の機能の考察（3 / 3）

（参考）呉高専2023年度・建築学科本科5年
「青山クラブの再生」学生作品
作品名：BLANK SPACE
グループ：佐々木悠心、中川翔太、清水陽）
編集案

CG作成：佐々木悠心

